

授業科目名・形態	日常生活支援技術演習Ⅹ	演習	必修・選択の別	選択
担当者氏名	関口麗子	開講期	3年後期	単位数 1

【授業の主題】

人間にとっての終末期を厳かに受け入れ、人生の終末期における介護の意義・目的を理解する。終末期における基本的な介護の知識・技術・態度を習得し、さらに残された家族などの悲しみに寄り添うグリーフケアについても、理解する。

【到達目標】

- 1) 終末期における介護の意義・目的を理解する。
- 2) 終末期におけるアセスメントについて理解し介護の技法を学ぶ。
- 3) 終末期を支える制度や、医療との連携の必要性を理解する。
- 4) 悲嘆のプロセスとグリーフケアの必要性を理解する。

【授業計画・内容】

- 第 1 回 終末期における介護の意義と目的（事前の意思確認）
- 第 2 回 ライフサイクルと人生観・死生観（グループワーク）
- 第 3 回 ライフサイクルと人生観・死生観（発表・まとめ）
- 第 4 回 告知とインフォームドコンセント（グループワーク）
- 第 5 回 告知とインフォームドコンセント（発表・まとめ）
- 第 6 回 終末期医療の決定プロセスに関するガイドラインについて
- 第 7 回 終末期にある人の心身のアセスメント（ICF の観点から）
- 第 8 回 終末期にある人の心身の苦痛と諸症状の理解とケア①
- 第 9 回 終末期にある人の心身の苦痛と諸症状の理解とケア②
- 第 10 回 「在宅で看取るといふこと」～課題レポート
- 第 11 回 終末期にある人の家族ケアⅠ
- 第 12 回 臨死期のケアの方法 ①看取りのパンフレット
- 第 13 回 臨死期のケアの方法 ②エンゼルケア
- 第 14 回 施設における医療との連携（制度等を含む）
- 第 15 回 グリーフケア

【授業実施方法】

講義形式を中心に、グループワーク、DVD学習等を行う。

【授業準備】

ライフサイクルの理解と、人生観・死生観について考えることができるよう関連の文献を読む。

【主な関連する科目】

介護の基本，社会福祉概論，高齢者福祉論，障害者福祉論

【教科書等】

「新・介護福祉士養成講座 7 生活支援技術Ⅱ 第 3 版」〈中央法規出版〉

【参考文献】

『平穏死』のすすめ：石飛幸三，講談社 「介護と看取り」：結城康博，平野智子，毎日新聞社

【成績評価方法】

試験・レポート・グループワーク発表 90%、出席状況・授業態度 10%による総合評価。

【学生へのメッセージ】

死と向き合うことはどういうことなのか。DVD,ビデオ、文献を通して積極的に話しあい死から学びとることができるように、自分自身の死生観を育んでいくことはとても大切なことです。